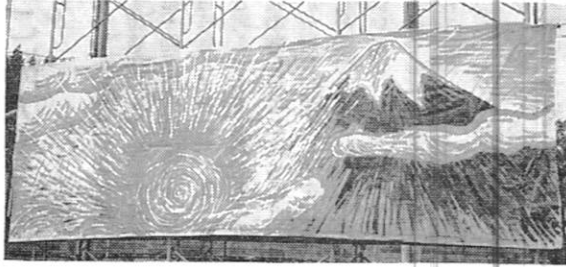


2…70周年記念事業
 3…名簿のお礼
 目 6…各科日より
 9…平成2年度 卒業生の進路
 12…クラブ活動
 次 15…転退職のあいさつ
 21…会員日より
 22…会費・寄附一覧

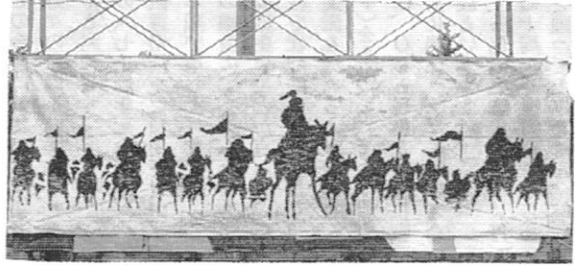
白水会報

発行所
 大阪市立泉尾工業高等学校内
 大阪白水会
 〒 551
 大阪市大正区泉尾5-16-7
 T E L 大阪 552-2221代
 F A X 554-7612
 振 替 大阪 4-82966
 発行人 檜尾俊明
 編集責任者 六辻丈夫

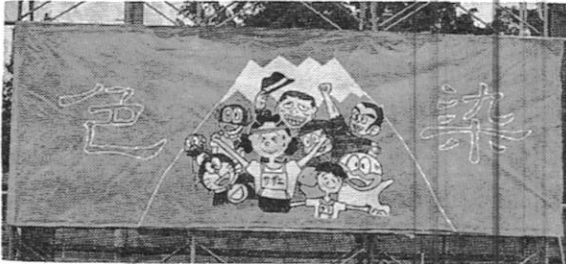
本年度母校体育祭背景



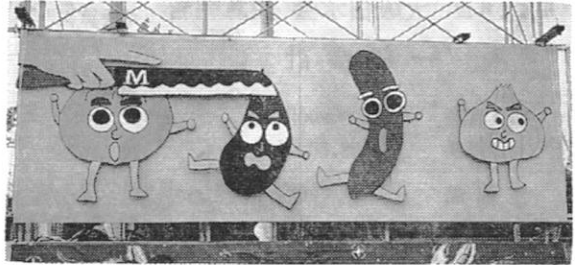
フレー フレー ファイト! ファイト! (S科)



強者達よいざ出陣 (A科)



仮装と一体になって大ふんとう (D科)



野菜拍子ソーラン! ト・ト・トマト (M科)



燃えろ燃えろ、焼きつくすまで (C科)



ワッショイ・ワッショイ、お祭りだ! (E科)

来年は

母校創立七十年

来年、母校は創立七十年を迎えることになる。

七十周年ということ、単なる歴史の一通点とのみ考えるのではなく、この機会に過去を振り返り、現在を直視し、その上に立って将来を見通すひとつの大きなきっかけとすべきではないだろうか。

工業高校を取りまく社会状況は創立当時と比べものにならないくらいに大きく変化してきている。技術の進歩は今更言うまでもなく、社会の工業高校に寄せる期待も多岐にわたり、そしてまた若年令人口の急激な減少は、母校泉尾工高の存在を改めて問おうとしている。

このような時機に創立七十周年を迎えるのであるが、単なるお祝いの季節として終わらせるのではなく、温故知新の故事にならない、泉尾工高発展のスプリングボードと位置づけたいものである。

もとより、創立七十周年を記念する行事・事業については、母校において決められることではあるが、大阪白水会としては将来に向けて意義あるものであることを、心より願うものである。

七十周年記念事業にご協力を

来年の創立七十周年を記念した諸行事・事業を企画・実施するための諸委員会が母校に組織され、大阪白水会も記念実行委員会に参加することになりました。実行委員長には、白水会長の松尾俊明氏（S32）が、副委員長にはPTA会長等と共に上野勇前白水会長（M25）が就任。

七十周年を記念した母校の計画としては、

○ 記念式典（来年十月二四日）
○ 七十周年記念誌の発行
○ 記念事業として、①泉工の歴史の保存と卒業生の活躍の跡を残すための諸事業、②在校生の自主的活動を支援するための諸事業、③学校のPRを強化するための諸事業、④その他。

○ 記念体育祭・文化祭・実習公開・生徒作品展や記念行事についても具体策を検討中。

大阪白水会としては、母校のこのような取組みに対し、次のような点で卒業生各位の積極的なご支援を心から訴えるものであります
1、泉尾工高の学校としての歴史を示す諸資料の提供をお願いしたい。母校は、たびたび水害にあい、戦前はもちろん戦中・戦後の諸資料の多くは散逸してしまっており、印刷物・写真等を問わず、この機会に収集しておくべきかと

考えます。

2、卒業生各位の卒業後の活躍の跡を示す諸著作、作品あるいは発明・発見・開発などの成果を、在校生に目に見える形で残すようにしてはと考えます。先輩諸氏の社会的活躍の跡を見ることにより、在校生が一層奮起することを期待したいものであります。

ご提供いただいたものは、学校にて永久保存していただきます。

3、母校で計画しております七十周年記念行事及び事業を財政的にバックアップするための募金にご協力をお願いしたい。

募金は、一口五千円といたしますが、この金額にこだわらずより多くの方々の浄財を集めることが大切かと考えます。

同封の「七十周年記念募金」のための振替用紙をご利用下さいませ。すようお願い申し上げます。
4、この機会に、クラブ、クラスあるいは同期生単位とか有志で、母校の存在を社会的にPRしたり、相互の交流を深めるような催し（イベント）を企画いたしませんか。例えば、OBと現役との対抗戦とか、文化関係クラブにおける合同作品展というように、卒業生各位の熱意でもって、母校創立七十周年を有意義ならしめることを願って止みません。

積立金会計

平成2年度 大阪白水会 決算報告

一般会計

収入総額	3,428,800円	
支出総額	3,428,800円	
差引額	0円	
収入の部		
項 目	予算額	決算額
前年度繰越金	420,194	420,194
予 納 金	950,000	896,800
会 費	1,550,000	1,629,000
預 金 利 息	5,000	18,643
雑 収 入	300,000	351,433
積立金会計より	0	112,730
合 計	3,225,194	3,428,800
支出の部		
項 目	予算額	決算額
会 報 作 成 費	2,000,000	2,202,931
総 会 費	300,000	350,668
新 入 会 員 迎 接 費	180,000	160,268
退 職 記 念 品 料	180,000	171,000
会 議 費	200,000	197,673
教 育 後 援 会 分 担 金	100,000	100,000
出 張 費	120,000	124,000
事 務 ・ 通 信 費	85,000	62,730
雑 費	60,194	59,480
合 計	3,225,194	3,428,800

《決算報告》

収入総額	7,876,627円
支出総額	750,230円
差引額	7,126,397円…次年度へ繰越
収入の部	
項 目	金 額
前年度繰越金	4,301,962円
預 金 利 息	74,580
雑 収 入	3,500,085
合 計	7,876,627円

支出の部

項 目	金 額
母校PR誌への補助	637,500円
一般会計への補助	112,730
合 計	750,230

監査の結果、正確であることを認めます
平成3年5月2日
会計監査 山 畑 阿 威 磨 御
田 中 豊 三 御

《予算案》

収入総額	7,176,397円
支出総額	600,000円
差引額	6,576,397円
収入の部	
項 目	金 額
前年度繰越金	7,126,397円
預 金 利 息	50,000
合 計	7,176,397
支出の部	
項 目	金 額
一般会計への補助	600,000

平成3年度 大阪白水会予算案

<一般会計>

収入総額	3,450,000円
支出総額	3,450,000円
差引額	0円
収入の部	
項 目	予算額
前年度繰越金	0円
予 納 金	900,000
会 費	1,600,000
雑 収 入	350,000
積立金会計より	600,000
合 計	3,450,000円
支出の部	
項 目	予算額
会 報 作 成 費	2,200,000円
総 会 費	300,000
新 入 会 員 迎 接 費	180,000
退 職 記 念 品 料	200,000
会 議 費	200,000
教 育 後 援 会 分 担 金	100,000
出 張 費	130,000
事 務 ・ 通 信 費	80,000
雑 費	60,000
合 計	3,450,000円

'90年版大阪白水会会員名簿発行

会 計 報 告

平成3年4月30日現在

収入の部

費 目	金 額	備 考
広 告 料	6,348,000	173件
賛 助 金	1,814,000	165件
購 入 金	6,176,000	1543件
雑 収 入	125,590	預金利息等
計	14,463,590	1881件

支出の部

費 目	金 額	備 考
名簿作製費	8,227,530	
郵送・通信費	1,958,974	
会議・事務費	493,045	
払 込 料 金	117,260	
雑 費	166,696	
繰 入	3,500,085	積立金会計へ
計	14,463,590	

監査の結果、正確であることを認めます
平成3年5月2日

会計監査 山 畑 阿 威 齋 三
田 中 豊 三

- 諸会議
役員会
理事会
- (第1回) 平成2年6月22日
 - (第2回) 平成2年11月16日
 - (第1回) 平成2年6月22日
 - (第2回) 平成2年11月16日
 - (第1回) 平成2年6月22日
 - (第2回) 平成2年11月16日
- 常任理事会並びに名簿発行委員会 何度も開催

名簿発行される

一 昨年初より準備をはじめました会員名簿が、昨年九月に完成発行されました。実に十八年ぶりのことでありました。

B五判、約五百五十ページ厚さ二・三cmの堂々たるものです。表題は、日本芸術院会員の村上三島氏(A6卒)に揮毫いただいたいております。

今回は、名簿発行にともなう事務処理のかんりの部分を、印刷会社に依頼しましたが、確認作業や賛助広告の確保は、常任理事で組織した名簿発行委員会が主としてあたりました。この一年半にわたる長期間の労力は並たいていのもではなく、放課後や休日もそれにあてることが継続してございました。

しかし、十八年間のプランクは大きく、このように努力しても予想外の時間がかかり、発行を心待ちにされていた皆様方に大変ご迷惑をおかけしました。

本年四月末現在の発送状況は別表の通りでございます。

名簿刊行にともなう決算報告も併せて掲載いたします。剰余金につきましては、積立金会計にくり入れさせていただきます。

尚、名簿の訂正版を近く発行いたしますが、これは名簿申込者に無料でお送りいたします。

今からでも名簿購入出来ます

会員名簿が若干残っておりますので、ご希望の方は申し込んで下さい。

顧問
澤谷 章(初代会長 A13)

板野 徳祐(第4代会長 A3)

会計監査
田中 豊三(S38)
山畑阿威齋(A33)

会 長 松尾 俊明(S32)
副会長 高橋誠一郎(S15)
北嶋 豊(D20)
大谷 正男(C18)
福村 吉晃(A28)
角岡 貞治(M33)
河端 保(E41)

平成3年度役員

一部送料共で四千円です。郵便振替または現金書留にてご送金いただければ、折りかえしお送りさせていただきます。

郵便振替の場合は、同封の会費納入用振替用紙をご利用下さい。

平成2年度事業報告

本内忠五郎(第5代会長 D3)
飯田 年春(第6代会長 S4)
鎌田 修一(第8代会長 D13)
横山 幸男(第10代会長 A17)
上野 勇(第11代会長 M25)

会長を務められた方が在任中に蓄積された数々の知見を、退任後も大阪白水会運営に活かしていただく意味で、「顧問」にご就任いただくことが今年度の理事会で決定した。

総会の開催 平成2年7月20日
大成閣 参加 128名余
東京支部総会
平成2年7月27日(金)
九段会館

平成3年度事業計画

総会 7月19日(金)「大成閣」
東京支部総会
7月5日(金)「九段会館」
会報の発行 7月1日(予定)

卒業生を囲む座談会
平成3年6月15・19・20日
出席いただく卒業生 38名
教育後援会を通じた財政援助 10万円/年

会員名簿(訂正版)の発行
母校創立七十周年記念に対する協賛事業
諸会議
役員会・理事会 6月14日

天然魚のすし店
すし 異 YOU

専務取締役 田中豊三(S38卒)

〒532 大阪市淀川区新北野1-9-15
ホテル・プラザオーサカ1F
TEL(06)304-2225(直通)

はじめまして

氏 名	教 科	
佐藤 彰夫	体 育	市立高より
稲田 昌美	A	京都・精華中より
益田 卓茂	M	都島二工高より
島田 一	M	東淀工高より
吉岡由美子	養 護	生野二工高より
岡本 安弘	社 会	新採用
白木 真弓	英 語	新採用
松島 直樹	D	新採用
河村 和久	C	新採用
近藤 恭平	M	
伊藤 弘祥	管理作業	
(本年度非常勤)		
堀田 幸利	A	
井上 葛	M	
垣内 正澄	理 科	
西田 昌昭	理 科	
米杉 恵美	体 育	
新宅 充子	家 庭	
上村 隆弘	M	
林 賢	M	

長い間、ありがとうございます

泉工のために長年ご尽力いただきました次の先生方が本年で退職・ご転任されました。

長い間ありがとうございました。先生方の今後の御健康と御活躍をお祈りして感謝の意といたします。

氏 名	教 科	
北川 恒夫	D	ご退職
阪口 孝	C	ご退職
矢野 賢二	体 育	ご退職
井上 葛	M	ご退職
真田 寿一	管理作業	ご退職
長尾 哲	社 会	ご退職
本田 正宏	理 科	ご退職
芦田 利広	英 語	ご退職
奥林 友子	家 庭	ご退職
丸岡 通泰	M	転勤、生野工高へ
福本 雅之	英 語	転勤、淀商業高校へ
宮尾 善昭	社 会	転勤、鶴見商業高校へ
下村 素子	養 護	転勤、貝塚養護学校へ

建 築 工 事 業

株式会社 益 田 組

代表取締役 益田 治 (C37卒)

☎554 大阪市此花区梅香2丁目2番17号
TEL (06) 4 6 1 - 5 2 1 2

セーター・ブラウス用

トーション・レース及ブレード

企画製造

カツミ産業

堺市石原町4-398 ☎0722 (59) 8011

と 松 尾 俊 明 (S32卒)



学校卒業アルバム製作

株式会社 水原フォトグラフ

☎543 大阪市天王寺区大道4丁目1番5号
TEL (06) 771-2068(代)
771-2025

タオル/手拭/ゆかた/別染

(株) 松 利

松田 利三 (D7)

大阪市中央区東心齋橋2-5-25
TEL 06-211-2304・8482

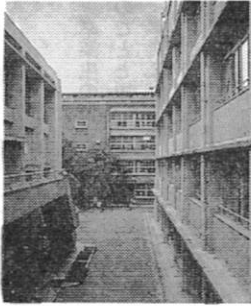
泉尾工高新名所

新本館が完成して六年、新体育館が出来て五年たちました。

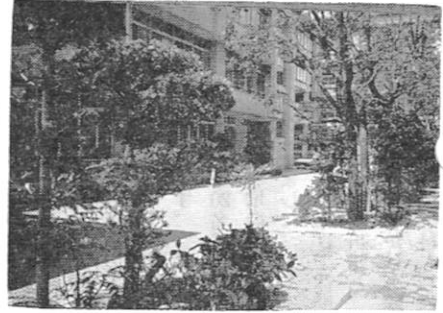
完成したときは「新館」と呼ばれたM・E棟も、今では「西館」と名称が変わっただけではなく、泉工最古参の旧館となりました。移植した樹々もすっかり定着し校舎周辺のロッキングスタイルと調和を見せるようになりました。この写真からは、往時の泉工をしのぶことはとても出来ないのではないのでしょうか。



本館玄関



右本館、左体育館、奥E科



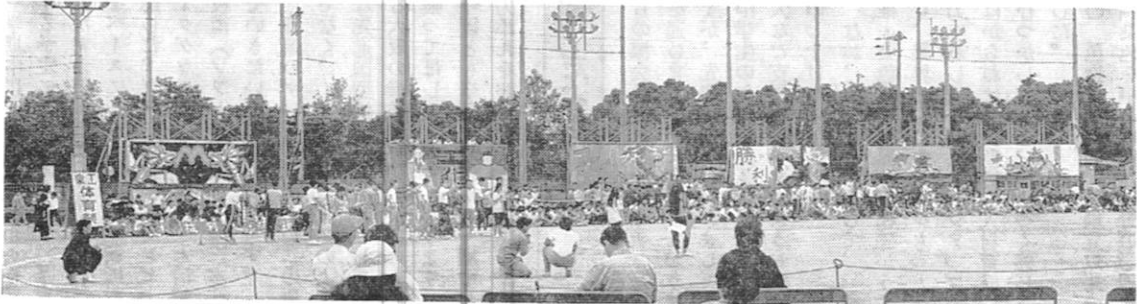
S D棟よりの本館



左が西館

実習着の変更あいつぐ

今年から、機械科の実習着が上着がアースグリーン、ズボンは濃紺のツートンカラーに変更。電気科も上下ともアースグリーンに、そして色染工業科もコバルトブルーのジャンパースタイルに。いずれの科も、イメージチェンジと機能性を考慮したとか。また、体育の服装も今年の一年生からうすいエメラルドグリーンに変わりました。



各科応援席

第69回体育祭成績

		優 勝	2 位	3 位
競 技	総合	M	E	S・C
	3年	M ₁	E ₂	C
	2年	E ₂	M ₂	M ₁
	1年	C・M ₁	—	S
応 援 背 景		M	C	S・A
		M	A	C

第六十九回体育祭は、雨のために一日順延となりましたが、五月二十八日「しっかりとこうぜ」をテーマに開催されました。肌寒さを感じさせるうす曇りの中、午前九時の定刻さっかりに入場行進開始。ほぼ例年通りの競技に、日頃の成果をさそいしましたが、その結果は別表の通りとなりました。競技のうち、つな引きはC科がA科2組を破り優勝、対科リレーは電気科が優勝しました。背景は例年以上に力作が多く、その中でも動きのある場面を何通りも展開したM科はとくに目立った存在でした。また、仮装は今年もS・D科の二科のみの参加となりましたが、優秀賞はD科に授与されました。

そば処
やまがぼん
2F40名迄宴会可能
木内政雄(C33卒)
大阪市福島区海老江7丁目6番12号
TEL. 458-8546

建築環境金属製品設計製造販売
ホクデン工業株式会社
代表取締役 北田 昌由樹 (M34卒)
山上 アキラ (M36卒)
池 内 佳 正 (M61卒)
工場/大阪市西淀川区大野3丁目5番14号
電話 06(475)5050代 FAX 06(471)8363
本社/大阪市西淀川区大和田5丁目22番19号

繊維工業科だより

卒業生の皆さん、元気にご活躍のことと思います。

平素は母校の為に何かとご支援、ご協力賜り誠にありがとうございます。

二十数年間、休止していましたが紡織会が理事の皆様の努力の結果、名称も新しくグリーンクラブ

(S科のカラー)として昨年十月二十七日(土)(於太成閣)94名の参加者を経て盛大に、復活総会を開くことができました。

会長 高橋誠一郎氏(S15卒)
副会長 中村 寿太氏(S27卒)

西村 圭一氏(S30卒)
榎尾 俊明氏(S32卒)

書記 嶋田 一美氏(S43卒)
川森 愛子氏(S43卒)

会計 木原 和子氏(学校)
会計監査 齋田昭男氏(S40卒)

相談役 飯田 年春氏(S4卒)
布谷 伊光氏(S4卒)

松本 吉穂氏(S9卒)
三浦 良貴氏(S10卒)

事務局(学校) 里崎・木原・明比
以上総会にて承認されました。
今後、ますます同窓会々員相互の親睦をはかっていきたいと思

更。更にその総会の席で、大阪白水会の次期会長として(本年七月の

白水会総会より) 榎尾俊明氏(グリーンクラブ副会長)を推すことも承認されました。

来年少母校が七十周年をむかえる時期でもあり、グリーンクラブあげて協力していくことも確認されました。何分にもよろしく御協力の程お願い致します。

さてS科の学科改編の件につきまして、卒業生の皆様より数年にわたり数多くの助言を頂きました。有難う御座居ました。

全国の繊維系学科約40校の学科

色染工業科だより

○色染工業科の今春の卒業生は34名(男8名、女26名)でした。

その進路は別掲の通りですが、就職にあたっては毎年のご多から、先輩各位の多大なるご支援を受けました。今後とも意欲のある卒業生を関連業界に多数送り出

たいと考えております。

○新一年生は、男20名、女20名と、男子生徒の入学増の傾向が目につくようになりました。

ここ数年來、全校をあげて体験入学、学校見学会、中学訪問と、

中学生や先生方への働きかけを続けております。色染工業科もこれ

改編の状況をみながら、いよいよ一学期中に、科名変更を市へ申請する予定になっております。基本的な考え方は繊維(新素材も含む)をベースにしなが技術革新に対応した、デザイン技術(コンピュータグラフィックも含む)と情報技術(ソフト・ハード)の三本柱でいきたいと考えております。

英国のマンチェスターの二の舞でなく、イタリアのミラノのような先進国型繊維産業をめざしている大阪の繊維産業に、是非とも頑張ってほしいと願っております。今後とも卒業生の皆様の一層のお力添えをお願い致します。

色染工業科だより

らの機会は勿論あらゆるチャンスを通じましてPRに努めておりますが、先輩各位におかれましても中学生の泉尾工高入学に対し、絶大なご支援下さいますようお願い申し上げます。

なお、PR活動を通じて、「繊維・染色関連業界の存在感がうすく、業界としてのPRをもっと強力におし進め、イメージアップをはからねば、長期的な人材育成はむづかしい」と、つくづく感じました。

○色染工業科では、創立以来の「染色を中心に関連分野の学習」

を行ってまいりましたが、近來これを「染色をはじめプラスチック、紙、金属等の着色を含めた広く「色彩」に関わる分野の知識と感性をそなえた技術者」を送り出すことにとめております。

具体的には、「色彩」に関する知識や感性を深めるためのCCM実習の積極的推進やデザイン実習の充実をはかっております。

また、プラスチックの着色にも取り組んでおります。プラスチックの着色実習用としてD45年卒の貴田広志氏のお骨折りで、新興化成株式会社より押出機・成型機一式の寄贈を受けました。紙上を借りまして、ご披露申し上げます。

現在、校内では「泉工の特色化・活性化をはかる」ための方策が協議されておりますが、色染工業科卒業生の松島直樹先生をお迎え



科では従来の流れを大成した教育課程の改訂、実習設備の拡充、学科名の変更をも含む大巾な学科改編の協議が行なわれております。

卒業生各位の英知を結集したく存じますので、何分のご協力をお願いしたいと存じます。

○昭和二十六年以来、四十の長きにわたって色染工業科の教育に尽くされました北川恒夫先生は三月末をもって停年退職されました。昭和四十七年以來、色染工業科長を勤められ、その間実習棟改築にあたっては「色染工業科百年の計」を台言葉に、中心的な役割りを果たされました。

○色染工業科から最初の女子生徒が卒業して二十五年になりました。その間、染色関係の仕事が続けたいと思いつつも、結婚・出産のためにやむなく職場を去っていかれた方々が多数おられると思います。しかし、考えてみればその技術が埋もれてしまうということで、大層もったいないことでもあります。今一度その初志を生かすことが出来れば、色染工業科の社

会的存在理由ももっと高まるのではないかと科内でもよく話し合っておりです。

セラミック科だより

卒業生の皆様、お元気で活躍されていますか。平素はセラミック科のため、何かと御協力を賜わり誠に有難うございます。

阪口先生が、この三月をもって退職されました。皆様もご存じの通り、本校発展の為四十年間献身的に勤務されました。我々職員も長年、先生のご厚情溢れる御指導に浴し、教育に力を注ぐことができました。皆様と一緒に深くお礼を申し上げたいと思います。大黒柱を失いましたが、先生の残された大きな足跡を繼いでセラミック科が増々発展するよう、我々職員一同気を引き締め頑張っております。

阪口先生の後任に河村先生をお迎えしました。科に新風が吹き込まれ、我々もリフレッシュできる様期待しています。二年ぶりに岩崎先生が教務課から、また池中先生が生活指導課からそれぞれ科へ戻り、その代り藤岡先生が生活指導課へ出向されています。

今年も新入生四十名(内女子一名)を迎え、生徒総数百十三名

お力になれることがあるかも知れませんので、機会があればご連絡下さい。

(内女子六名)でスタートしました。四月二十四日の校外学習は、信楽の世界陶芸祭へ、バス二台で見学しました。期待通り遠路訪れた田妻がありました。天候には恵まれませんでしたが、

また、セラミック第一期卒業生の就職状況はお蔭様で大変良好でした。今年も間もなく就職指導が始まります。先輩諸氏のご支援

工業化学科だより

卒業生の皆さん、元気に活躍のことと思います。

平素は母校の為に何かとご支援、ご協力賜り誠にありがとうございます。

本年の人事移動は一人だけで、一昨年着任されました阪井利光先生が研究の為、信州大学の大学院にもどられました。まじめで研究熱心な先生でした。大変残念ですが、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

阪井先生の後任に、稲田昌実先生をお迎えいたしました。

しくお願いいたします。

今年の体育祭は、泉寮会から寄贈して頂いた新しい応援旗のもとで、好成績を上げることができました。有難うございます。これからは、この新しい応援旗に青春の思い出が毎年次々積み込んでいくことでしょう。

ちなみに、昨年の泉寮会総会で寮業科・セラミック科の同窓会の名称は、今まで通り「泉寮会」と決定いたしましたので、ご報告いたします。

最後になりましたが、卒業生の皆様の御健康と御多幸を心よりお祈り申し上げます。

先生はコンピュータに大変造詣が深く、早速実習に取り入れて学習の効果を上げております。

また、バイオテクノロジーについても大学でよく勉強されて来ておられます。

さて今年の卒業生は69名で先輩諸氏の職場で働いていると思えます。よろしくご指導下さい。

現在当科での取り組みは、生徒急減期を迎え「特色ある学校づくり」を目的として、いろいろ対策を練っております。「魅力ある学校」、「魅力ある科」と考え、

機械科だより

卒業生の皆様にはご健勝ご活躍のことと存じます。

今春の卒業生は67名です。その中に一名の女子が含まれており、これにより全科で女子卒業生を送り出す結果となりました。クラスで一名の中、色々問題克服したくましく果立って行きました。

新規の卒業生に対し、先輩方の多いなるご尽力、ご支援をお願いするところです。

就職先や職員の移動、担任表などは別紙をご参照下さい。

昨年度機械科に新しい実習装置が導入されました。教育用 CNC フライス盤、マイクロボット、搬送用コンベア、総合運転システム、CAD など各一式です。これにより F A 装置としての動きを卓上で、その原理と制御運転などが学べるものです。

今年度の体育祭での M 科の状況は、昨年に引き続き、応援・背景の部で、ダブル優勝を果たしました。三年生を中心に下級生がよく

学習内容の精選、改善に取り組み、良さ生徒の育成につとめていきます。泉工、工業化学科の伝統の実習に加え、最新の技術であるバイオテクノロジーの実習にも力を入れており、本年からは一、二、

協力した成果であります。競技の部でも、一年・三年とともに、総合優勝旗を二年振りに M 科へ持ち帰りました。

母校の来訪の折、M 科職員室へお立寄いただきその成果を見てやって下さい。

〈機泉会関係〉

昨年度の白水会名簿発行に際し卒業生各位、および勤務先企業には、多大なご支援を頂戴し、厚くお礼申し上げます。

またお寄せいただいた消息情報を、手違いにより名簿に掲載できなかった点、深謝しお詫び致します。万が一、名等が未着等の問題がありましたら係(佐々木)へ連絡いただきます様お願い致します。

白水会総会の当日、機泉会関係の詳細情報をお渡し致しますので、お誘い合わせの上、多数のご出席をお願いいたします。

電 気 科 だ じ ょ り

今春、電気科では六十八人が卒業し、紫電会の仲間入りをしました。昨年の就職試験は、昨今の人手不足や好景気のせい、極めて順調で、電気科の生徒は殆んどが一回の受験で希望する会社などへ内定しました。就職先などは別掲の通りです。ご覧下さい。紫電会の皆さんの職場へもお世話になつていと思ひますがよろしくご指導下さい。

さて、中学卒業生の急減期に入り、電気科も特色化・活性化をはかり魅力ある電気科になることが求められています。電気科では特色化の一つとして、ご存知の通り十年前より二年生で全員が第二種電気工事士試験を受験するという指導方針を取り組んでまいりました。そして着実に成果を上げてまいりましたが、今年度からはさらに指導効果を上げるため新たな工夫を始めました。すなわち、一年生の実習で工事

技術という実習テーマを設け、四班に分けて工事士受験のための対策学習を行ったり、鑑別問題に強くなるように種々の工具・器具を常時陳列展示する陳列ケースを職員室前に設置したりしています。

「泉工・電気科へ進めば電気工事士の免許は必ず取れる」と言う評価が得られるよう電気科職員一丸となって頑張っています。もちろんこれ以外にも第一種電気工事士、ラジオ音響技能試験などにも力を入れています。昨年お知らせしましたように新しい実験設備も充実して来ました。機会がありましたら皆さんもそれぞれの地域などで母校・電気科のPRをして下さいませようお願いします。

最後に、今年も白水会の総会の日併せて紫電会の総会を開きます。同窓の方々ときそい合せて多数ご参加下さい。

母 校 短 信

大前好智君海外へ

大阪市立工業高校生徒海外派遣事業として、マレーシアへ今夏大阪市より派遣されるメンバーに、

電気科三年生の大前好智君が選ばれました。同君は、7月14日より約2週間現地の技術系の高校等で技術交流を通して相手国の工業技術、社会、歴史などに関する理解を深め

ると共に、国際的な信頼と友好を図ることになります。

外国大学教授母校訪問

昨年12月4日に、タイ国ラジャマンギヤラ工科大学の先生一行が、日本の繊維用薬剤工業を視察に来阪した折に、母校繊維工業科と色染工業科見学のために来校された。

一行は繊維・染色の専門家なので、興味深く両科の実習場を見学され、両科生徒の実習作品を記念に贈られました。尚、当日は岡田孝太郎氏(D32年卒)が、通訳兼世話係として大変お世話下さいました。



開放講座

大阪府が実施している高等学校開放講座が、本年も泉尾工高で開催されます。

昨年はセラミック科での「陶芸入門」でしたが、本年は色染工業科で「染色入門」講座が、8月31日(土)から11月16日まで毎週土

曜日行なわれます。

参加ご希望の方は、市教委社会教育部事業係(電話〇六一二〇八一九二四七)へ直接お申し込み下さい。

第69回文化祭

本年度文化祭は、11月10日の日曜日に実施致します。現在生徒会を中心に、各クラスの参加計画の立案や、文化部部活の充実など、文化祭に向けての準備が始動しました。先輩諸氏の来校心よりお待ちしております。

訃 報

楠 正道先生

(昭21年~46年在職) 昭和46年まで本校の社会科の教諭として教壇に立たれていました楠正道先生が平成3年2月5日に逝去されました。享年76歳でした。酒くさく、声はでかくて、ひげづらで、いまはなつかし大僧止。謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈り申し上げます。

長瀬次昌先生

(昭21年~52年在職) 昨年の会報に元気なごあいさつを寄稿くださいました長瀬次昌先生が平成3年5月22日に逝去されました。享年82歳でした。謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈り申し上げます。

プラスチック着色の明日を担う.....SEIWA

有限会社 誠 和 鉄 工 所

代表取締役 矢 島 健 二 (S.39卒)

合成樹脂押出成型 諸機械製作販売

本社工場 ☎574 大東市大東町8-60 TEL (0720) 75-1345 FAX (0720) 75-4064 第一工場 ☎574 大東市新田西町4-3 TEL (0720) 70-3369

平成二年度卒業生の進路

先輩の活躍に支えられて

今春の卒業生は三〇六名で、そのうち東京洗染機械製作所の進路は別記の通りであります。
諸先輩のおかげで、就職はスムーズに決まりました。ありがとうございます。
今年度も好景気が予想されますが、生徒共々より一層の努力を続けていきたいと思っております。
今後共、諸先輩各位のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

進路 性別	就 職	進	学	家	そ	総
		大	専	業	他	数
		学	門	等	業	
男	222	5	17	16	0	260
女	45	0	1	0	0	46
計	267	5	18	16	0	306

◆繊維工業科
ゴータEMB 浅井 直人 ㈱赤ちゃん本舗
田崎真珠 安藤 文絵 眞生印刷 眞生印刷
三菱自動車 内田 貴士 西濃運輸 西濃運輸
㈱マツダオート大阪 大西 圭 ㈱アデランス アデランス
㈱ミヤタ 木村 東起 ◎進学

函館大学 稲富 東洋 ㈱イースト・ポイント 濱田 浩二
コンピュータ総合学園HAL 辻本 真明 日立造船㈱陸機設計所 丸木 由佳 ㈱エスピー大日本 林 亜子
大阪デザイン専門学校 柳川 真利 東洋ガラス 村瀬 美紀 広瀬電気商会 林 義孝
新田セラチン 粟野 陽子 ㈱クロバークロロレーション 森岡 智子 ㈱ダスキン中央 藤田 昌宏
福徳産業 生島 幸恵 ㈱日本紡績検査協会 山崎 結加 ㈱日本通運 藤村 敏一
アミイ・テキスタイル 石神優美子 大日本インキ化学工業 横井 千和 ㈱トステムテクノウォール 藤村 敏一
近畿通関 内田 恵 大日本インキ化学工業 吉田さとみ ㈱アーク 古崎 泰弘
凸版大阪プロセス 有年田都代 小比賀紀子 大阪外語専門学校 垣端めぐみ ㈱ゲステットナー 丸田 義人
昌栄機工 川隅 幸子 A.T.S関西経理専門学校 岸下 圭吾 ㈱大阪窯業 山田 喜広
松浦 作間江美子 大坂デザイナー専門学校 中村 義久 自管 古関 優
カネボウ化粧品大阪第一北販売 勢村みどり ㈱ユニテッド・スチール 岡 敏雄 函館大学商学部 宇野 静典
大和化学工業 武山 朋子 ㈱オカ林ビューティブラザ 山下 鉄也 小川進一郎 大阪電子専門学校 堀田 斉
中谷運輸 播摩 昌彦 ㈱イソップ企画 竹山 里佐 ㈱奥野製菓工業 岡 敏雄 函館大学商学部 宇野 静典
㈱エス・エス・ケイ 樋本 次弘 日本化学製品 西村 恵里 ㈱明星工業 小川進一郎 大阪電子専門学校 堀田 斉
△ ㈱東京興業貿易商会 福井 竜二 松尾捺染 馬場千恵子 ㈱日本無機 金澤 秀樹 中之島美術学校 松本 善文
〇 ㈱マリアン 藤田 智子 水谷ペイント 原 勲 ㈱上組 越野 芳郎 ◆工業化学科 柳澤 宏幸
日本製薬 前嶋 美紀 稲畑染織技研 播本 智里 ㈱大阪ヒルトン 後藤 昌彦 塩野義製菓 足立 幸勇
△ ㈱トウプランニングサービス 西野金陵 日高真知子 ㈱石原産業 小西 賢也 澤田 曉男 ㈱ベアリングマンハイム東宝 板野 昌和
松本 昌鶴 西野ゼンヌ 弘 純子 ㈱ミヤコ楽器 塩野 映治 内外インキ 岡 克好
松山 晃二 末広酵素研究所 藤田智恵子 折田電気 島本 敏 淀川製菓 梶本 晃嗣
六笠 聖子 西村外科病院 堀田さゆり ㈱吉川工業 清正 圭一 日本油脂㈱尼崎工場 片山 和博
森口 政佳 センカ 松井 正実 ㈱初田製作所 中村 次郎 加納 義明
大和由香里 篠原電機 松原 正一 ㈱明星建工 西山 高広 大阪セメント 森 卓司
オーシ・ロイヤル 真鍋 慎吾 ㈱東洋ガラス 橋野 寿広

◆色染工業科

◆セラミック科

◎進学

白 水 会 報

ウエックコンピュータース株	川嶋 亘	ロックペイント株	田表 茂雄
ニチゴ株	小牟田修也	大鹿振興株	照屋 和巳
昭和電気建設株	佐藤龍太郎	松下冷機空調事業部	富吉 貴己
牛乳石鹼共進社株	澤田 英雄	日新製鋼株堺製造所	中野 忠
株TRY物流	魚井 由紀	ダイソー株	長浜 盛安
植田製油株	須本多久也	東那株	野口 誠
野村マイクロ・サイエンス株	平良 健二	シャープ株液晶事業本部	野津手重孝
田崎真珠株	高尾 圭一	株栗本鉄工所	福田 秀樹
大日本塗料株	高橋 健二	日本新金属株	藤崎 昌征
関西ペイント株	中尾 暁史	電算フォーム株	菅大間朝広
株サトーセン	玉城 利明	株ヨシダ	本田 孝弘
奥野製菓株	津志 年宏	キゲタ銅管工業株	榎村 博樹
株マコー美容室	常盤 則之	川上塗料株	宮里 正之
日本油脂株三国工場	中尾 明男	日本シール株	村井 寛
株三冷社	原田 和夫	大日本塗料株	山田 崇史
日本アルコル株	藤島 聖樹	オリエンタル酵母株関西西事業部	山本 光昭
広栄化学工業株	藤田 剛	セツナン化成株関西西事業部	山本 光昭
株永廣堂本店	藤原 道夫	和光電気株	横手 清美
株共和	舟島 正樹	安田産業株	吉松 賢治
テイカ株	宮本 雅之	就職予定	米山 幸一
ラサ工業株	山下 正浩	◎進学	国永 真一
大同化学工業株	山本 雄二	近畿大学理工学部	布田 好光
株マリンフード	井上 太志	近畿大学(旧)工学部	瀬尾高圧工業株
十條製紙株都島工場	井本幸次郎	大阪港湾労働分校	田村 龍男
釜屋化学工業株大阪事業本部	岡 憲亨	朝日コンピュータスクール	徳原 浩二
清和エンジニアリング株	坂本 恵一	◎機械科	中野 英和
神東塗料株	外間 直樹	日立エレベーターサービス株	西村 徹
水台ペイント株	田窪 崇	住友金属工業株	濱崎 洋志
	竹内 敏昭	広栄化学工業株	早矢仕明宏
	竹嶋 清則	植田製油株	林田 正浩
		メモリーハウス株	福間 健二
		日立造船エンジニアリング株	下田 浩
		アイコム株	
		東陽建設工機株	
		光ビョーラ工業株	
		株ジエクス	
		駒井鉄工株	
		東洋紙業高速印刷株	
		株三田技術コンサルタンツ	
		フジテック株	
		株辰巳商会	
		京阪電気鉄道株	
		フットワークエクスプレス株	
		谷 裕之	
		株日版製作所	
		株マイク・イワサキ美容室	
		シブヤエンジニアリングアンド	
		コンサルティンク株	
		三星産業株	
		株ダイカン	
		株ジェー・エス・オー	
		株よしみね	
		株ロイヤルホテル	

綿及混紡メリヤスニット
生地・製品染色加工仕上(創業50余年)

忠 株式会社 **黒川染工場**

代表取締役 黒川 忠 司 (D32年)

工場 〒534 大阪市都島区東野田5丁目11番24号
TEL (06)924-3358 FAX (06)924-3520
倉庫 〒536 大阪市城東区野江1丁目2番11号

●関連会社 **大黒工業株**
(株)ティケイテック

機械部品設計・製作・組立
平成4年度新工場移転スタッフを募集!

シマ精機 株式会社

代表取締役 志磨村和雄 (M40年)

〒663 西宮市上田西町3番27号
TEL (0798) 46-0686
FAX (0798) 41-3669

ダイハツ工業㈱	橋本 芳浩	シャープ㈱	佐藤 元昭	㈱エス・エヌ・ケイ	地道 一志
大阪ガス㈱	廣瀬 真善	リコーテクノネット㈱	立山 将司	㈱九十食品	外越 義明
共正陸運㈱	藤岡 誠	関西電気保安協会	住谷 憲洋	三菱電機ビルテクノサービス㈱	福田 祐彦
オリエント・コンピュータ	高島 透	三菱電機工業㈱	三村 英希	多村 英樹	福山 慎也
システム㈱	松浦 幸緒	シャープエンジニアリング㈱	竹久 良介	中町 豊重	西川 慎也
㈱ビーアイティ	松元 博	㈱メイテック	玉本 健三	タイカ㈱	中村 悟史
美達印刷㈱	宮永実知留	日本電気フィールドサービス㈱	手島 丈志	三洋電機㈱	西尾 賢司
㈱栗本鐵工所	宮本 和也	NEC商品サービス㈱	中西 智	朝陽電気㈱	濱本 千寿
マリンド阪㈱	村上 直也	マツダ部品大阪販売㈱	中村 寿宏	好川産業㈱	森下 忠明
白智	前田 成孝	住金大阪プラント㈱	榎本 利治	㈱佐々木電機製作所	山田 清隆
就職	白仁田 剛	関西電力㈱	野田 浩次	藤中電工	安土 賢一
進学		松下電工㈱	原 晴久	西栄建設㈱	川田 三郎
大阪産業ビジネス専門学校	黒見 千明	㈱ミツミネ	濱口 哲大	就職予定	枒 孝志
大阪工業技術専門学校	土家 基正	シャープ㈱電化システム事業本部			平原 光
進学	藤田 剛				
進学	柳田 信晶				

◎進学
 大阪職業訓練短期大学校(自動機 袖山 亮司)
 大阪職工高専職業技術専門校(自動 井上 義和)
 東淀川高専職業技術専門校(自動 谷口 周平)
 車整備科)
 谷口 周平

◎家業
 立山 将司
 多村 英樹
 西川 慎也
 中町 豊重
 中村 悟史
 西尾 賢司
 濱本 千寿
 森下 忠明
 山田 清隆
 安土 賢一
 川田 三郎
 枒 孝志
 平原 光



展示作品と奥様(右側)

市原基美先生作品展

◆印 各種建築家具金物製造卸

株式会社 浜 国

本社 東大阪市 鴻池1672-1
 TEL (06) 746-1921(代)
 FAX (06) 746-7878

札幌営業所 札幌市白石区北郷5条6丁目3-5
 TEL (011) 872-2772
 FAX (011) 872-2749

建設機械のリース・レンタル専門

株式会社 日商機械

姫野 康通 (M47卒)

本社 大阪市 浪速区木津川1丁目2番3号
 電話 (06) 568-3236 ~ 7番

総合機材センター 大阪市 西成区南津守2丁目2番43号
 電話 (06) 658-2233
 FAX (06) 658-9481

営業本部 大阪市 浪速区塩草3丁目5番20
 電話 (06) 568-3211番(代表)
 FAX (06) 568-3212番

の 文化 部 活 動



ブラスバンド部のファンファーレ

ブンカ、ブンカ、ブー
ブ・ン・カ
ブンカブンカブー
さわやかに、高らかに、誇らし
く、泉尾工高の校庭に、鳴り響く
ファンファーレ
心が踊る、勇みだつ

さあ、始めよう泉工体育祭

写真部

レンズを通して、芸術とわいせつ
の境目を探求していた巨匠丸岡
大先生が生野工高に転勤され、弱
体化したように見えた写真部です
が、丸岡先生の偉業を受け継ぐ為
に多くの先生が顧問になり、新入
部員二名が入り計三名になりパワ
ーアップしました。秋の文化祭・
芸術祭などに積極的に参加、活動
していきたいと思えます。一步も
二歩も、丸岡大家に近づこうよう
に努力したいとの決意を持っていま
す。

自動車部

昨年度はほとんど活動を行なわ
ず、残念な一年を過ごしてしま
いました。

しかし今年は多くの新入部員を
得、活気がよみがえっています。

この勢いで、今年こそは「エコ
ノパワーレース」への参加をめざ
してがんばります。

映画研究部

あたりさわりのない形式にそった
作品をつくるよりも、すこし乱暴
でも、みたことや感じたこと、自
分がやりたいことをいさいと描
いている、そんな活動をしてい
たいと思っています。

部員は現在1名ですが、自己表
現のできる場として一生懸命、頑
張りたいです。

地歴部

私たち地歴部は、毎週一回あつ
まうって、活動しています。部の名
前にもありますように、ある土地
の地理と歴史とを調べています。

昨年は、大阪ナンバの地図をつく
ったりしました。

今年も文化祭にむけて、がんば
って活動したいと考えています。
現在のところ、部員が4名しかい
ません。もっと部員を多くして、
がんばりたいと思えます。

陶芸部

本年度は、三年生が一人と、本
年入学した女子二人が入部し、三
人ですががんばっています。部員は少
ないけど、顧問の先生方と楽しく
やっています。

鉄道研究部

昨年の活動はJR研修センター
や車輛工場等の見学、レイアウト
の電気配線他かねてより製作中
であった展示台が完成し、文化祭に
は9輻編成が6段収容可能な車輛
説明用の展示台が活用できます

昨年は教室いっぱい敷いた複線
エンドレスレールにH0車輛が快
走しましたが、今年の文化祭はこ
れを更に発展させて運転台形コン
トローラで動くよう、そのための
電源装置も現在製作中。自動運転
の導入として自動列車停止装置の
しくみがわかる模型も計画。

ブラスバンド部

昨年度、我がブラスバンド部で

は、久しぶりに文化祭での演奏を
行ないました。今年も、更に体育
祭でも、ファンファーレ・得賞歌
・クラブ紹介での演奏を行ないま
す。

今年も文化祭でがんばりますの
で、また、二年生も居ないので、
新入生を迎え、気分一新。一から
始めていきたいと思っています。
目標は、定期演奏会。何とか、
三年生の部員が引退する前に第一
回が開ければ、と練習に励んでい
ます。

ゲームーズ同好会

今年も、コンピュータとディス
プレイが備品として購入して頂け
たので、活動が充実しそうです。
部員は現在12名です。

無線放送部

無線放送部です。今年も去年と
違って部員数も6人となりはりき
つてます。設備も充実していきま
すので活動が大変やりやすくなつ
ています。これから体育祭、文化祭
等、多々ありますのでがんばって
いきたいと思えます。

軽音楽部

軽音楽部は、昨年今年ともに約
四十名の部員数を誇り、現在も約
十バンドが活動しています。人数
が多いため、一つのバンドが部室
を使える時間は少ないですが、上
級生のバンドも初心者もそれぞれ
ががんばっています。

また、昨年は文化祭での野外ス
テージ、卒業生を送る会に加え
て、残念ながら入賞はできません
でしたが、スニーカーエイジとい
うコンテストにも出場しました。

茶道部

今年も文化祭でがんばりますの
で見に来て下さい。

今年より計画していた
文化祭でのお茶席を実現し、秋に
は、古都お茶会ツアーなどを企画
しています。

それまでに、内輪のお茶会を重
ね、技術の向上を図りたいと思
いますが、何分経験が浅く、力量不
足ですので、諸先輩方の御助力よ
ろしくお願い申し上げます。

ホビー部

ホビー部では、毎週水曜日、土
曜日定期活動日と決めていま
すが、ほとんど毎日集まってくる部
員がいて楽しくやっております。
昨年からは始めたテーブルトーク
では、先輩後輩の分け隔てなく一
緒に行ない、たいへん良い雰囲気
で、親睦を深めております。
三年6名、二年7名、一年5名の
計18名在部しており、文化祭に向
けて計画を練っている最中です。
ただ一つの悩みは、部員が急増
したために現在使用させて貰って
いる部室が狭くなり、充分な活動
がしにくくなってきたことです。



生3名・一年生8名の計18名で活動しています。

ご承知のように、陸上競技は、走・跳・投の三つの要素を含み、あらゆるスポーツの原点となっています。したがって、運動部全体の活動の中心となるべく、より一層の活躍を望まれているといえます。毎日の練習では、自分の運動能力・競技技術の向上に努力しています。

今シーズンも、大阪高校選手権・大阪高校総体・市立大会での入賞をめざし、がんばっていきますので、よろしくご支援下さい。

サッカー部

今年度、新一年生を迎えて、38名の部員数となり、毎日練習にがんばっています。しかし、本校のグラウンドが大狭せまく、千島グラウンド、泉尾グラウンドを使用することが多く、なかなか十分な練習ができないうのが現状です。

土曜日・日曜日は、試合の入らないかぎり本校グラウンドで練習をしていますので、ご指導に來校していただければと思います。

今年度の目標は、市立大会優勝と、府の公式試合四回戦をめざしています。なお、今年、市立高校より佐藤先生を顧問としてむかえました。

バドミントン部

バドミントン部は、現在主として

卓球部

昨年度の戦績結果は、十月の市

て三年生二名で頑張っています。期待していました新人部員はまだ入ってきていません。一年生が入部してくれることを期待しています。健康教育課の安田先生が新しく顧問になって頂き顧問が四名になりました。今後、後輩のご指導を宜しくお願い致します。

野外活動部

昨年は三年生を中心に部員がかなりいたにもかかわらず十分な活動が出来ず、残念でした。

今年はこのところ二年生四名ですが、五月には岩湧山へ登りましたが、合宿は八月に計画しております。

女子ソフトボール同好会

女子ソフトボール同好会は二年前に新しく誕生した同好会です。現在部員は6人、残念ながら試合はできませんが、これからも部員募集を行い、公式戦出場をめざしたいと思えます。

剣道部

現在、部員数が10名で、このうち一年生が5名という若々しい部員構成ですが、一年生の全てが剣道経験者で段位保有者です。このように、今は発展途上の状態ですが、焦らず少しずつ実力をつけて良い成績を残そうと考えております。

立大会で、ダブルスの松本・玉城組が優勝し、一月の新人市立大会では、学校対抗の部三位、ダブルスの越水・新子組が三位となりました。また、十一月の大阪高校選抜チーム大会で31位と部員達は健闘し頑張りました。

日々の練習により、精神力・技術力・体力・智力を養い磨きをかけて成果が出てきています。

現在、部員は三年生5名、一年生1名と少ないですが、気合とやる気は他のクラブに負けていません。本年度も八月中旬に夏季合宿を予定していますので、よろしくお願致します。

ボウリング部

ボウリング部も誕生して六年目を迎えました。全国的には徐々にではありますがボウリング部を持つ高校は出てきましたが大阪では、また一校とさみしい中、部員一同(7名)、気持を一つにして毎日のトレーニングに励んでおります。

軟式野球部

軟式野球部は毎日練習にはげんでおります。七月二十日より七月二三日の昼まで学校にて合宿を行いますので、おひまがありましたら、後輩の指導にご来校下さい。

硬式テニス部

昨年の市立大会では一昨年に引き続き優勝することができました。その後、部員数が減少し練習になかなか気合が入りませんでした。今年度は一年生とマネージャーで合計十名程度が入部し、四月以来にぎやかな練習風景がみられるようになりました。恵まれた練習環境を生かして各自の目標をもった練習を行う努力をしています。

なお、今年の合宿は久しぶりに校外で行う予定です。約一週間、レベルアップに努めていきたいと思えます。先輩方の御支援の方もよろしくお願致します。

男子バレーボール部

男子バレーボール部は、昨年度も練習・試合をしてきました。しかしながら、試合では良い結果をあまり出すことができません。一年間

アメリカンフットボール部

現在、部員が少ないため、日頃

が終ってしまったように思われま
す。

今年度は、より一層きびしい練
習をして、試合でも良い成績を残
せるようなチームになって欲しい
と願っています。なお、今年度の
顧問は、村上(敬)、山田(佳)、木
村、黒田先生です。

水泳部

昨年度は、少人数ながら、市立
大会男子総合三位、中央大会、高
校対校、新人大会においても好成
績をおさめることができました。

今年度は、新入部員19名を迎え、
活気ある練習をこなし、一人でも
多く入賞できるようにと頑張っ
ております。

本年度の大会日程は、地区大会
六月二十三日(勝山高校)、中央
大会六月二十九日、三十日、高校
対校八月五日、七日、市立大会八
月二十七日、新人大会九月十四日
、十五日、すべて大阪プールで行
われます。

今後、ご声援、ご支援をよろ
しくお願い致します。

バスケットボール部

昨年度は、素質はありながら、
練習不足で公式戦は一勝もできず
非常に残念な思いをしました。

しかし、本年度は三年生の部員
は一人もおりませんが、二年生7
名、一年生10名の部員で真剣に練
習に打ち込んでいます。来年度を

目標にがんばりたいと思っていま
す。また本年度は、東淀工から、
島田一先生が転勤され顧問を引き
受けてくれました。また二十才台
で、毎日熱心に練習をみてくれて
います。三年生がおりませんので
先輩諸氏の御指導をよろしくお願
いいたします。

レスリング部

五十八年十一月に同好会として

白水会員ゴルフに集う

去る5月24日、白水会々員有志
(17名参加)のゴルフコンペが、
河野京哲氏(S26)の御世話で池
田カントリーで行われました。

お天気にも恵まれ絶好のコンデ
ィションで全員和気合々の内に楽
しい一日を過ごすことができました。

十数年前の昭和53年10月にも白
水会員のコンペ(37名参加)が奈
良ヤマトカントリーで行われたこ
とがありますが、それ以来のこと
です。今回は会報にものせて頂き
もっと盛大にやろうということに
なりました。

成績は別表の通りです。
次回予定
日時 平成三年十月三日(木)
場所 旭国際東条カントリー
申込み連絡先 母校S科
黒崎・木原・明比
切日 九月三十日(金)

“風薫る池田五月山”
白球乱れて快汗!!

(18ホールストローチプレーH.C.Pはペリヤ方式)

NAME	綾羽	衣懸	TOTAL	H.C.P	NET	RANK
河野 京哲 (S26)	49	50	99	25.2	73.8	
角井 進 (M35)	42	55	97	22.8	74.2	
田中 豊三 (S38)	53	55	108	30.0	78.0	
上村 勝美 (A33)	60	49	109	30.0	79.0	15 位
山畑阿威磨 (A33)	47	40	87	16.8	70.2	準優勝
丸本 泰生 (M41)	63	64	127	34.8	92.2	M K
池之内 猛 (M43)	53	58	111	33.6	77.4	10 位
磨田 昭男 (S40)	57	46	103	25.2	77.8	
笠島 康隆 (S39)	43	41	84	14.4	69.6	優 勝
我那覇民義 (S39)	52	57	109	31.2	77.8	
松本 健二 (S42)	44	48	92	15.6	76.4	
上杉 平 (A34)	44	46	90	18.0	72.0	
竹内 憲二 (A34)	45	39	84	13.2	70.8	3 位
竹内 義二(特参)	51	44	95	16.2	78.2	
桧尾 俊明 (S32)	51	47	98	25.2	72.8	
井谷 衛 (D40)	40	43	83	10.8	72.2	B.G
里崎 公泰(学S)	58	58	116	34.8	81.2	B.B

発足して以来八年目を迎え、徐々
ではあります、充実した活動が
できつつあります。昨年度は、三
年生の頑張りもあり、又、新入生
の活躍もあり、各大会で優勝者を
出すことができました。

宮城県で開催された全国大会に
も50kg級で志野君が出場し、富吉
君に続き二年連続で全国大会出場
を果たしました。

団体でも奈良県で開催された近
畿大会に初めて出場することがで
き、大阪高校総体で総合で二位入
賞を果たし、本年度の頑張りが期
待されるところで、本年もよろ
しく。

硬式野球部
昨秋の市立大会では準優勝、ま
た秋季工業大会のベスト4。ま
た、春季工業大会は現在準々決勝
まで進出し、三年ぶりの優勝と一
層力が入っています。
今春には新入部員が23名入部
し、総部員49名で現在活動してい
ます。
去年の夏季大会は惜しくも4回
戦で破れましたが、今年こそはベ
スト8と選手一丸となって練習に
励んでいます。今後共ご声援の程
よろしくお願い致します。

つきぬ思い出と感謝

阪 口 孝



工の看板の一つであり、窯業科のシンボルでもあった大煙突も撤去された。

47年から始まったM科実習場を校舎改築の第一段階として、優秀な数多くの卒業生を送り出してきた大正末期から偉容を誇り、たび重なる風水害と焼夷弾の脅威に曝された旧校舎・実習場も50の年輪を数える年になり、その老朽化のために48年から62年までS科、D科、A科、C科の実習場と本館体育館、50周年記念館が次々と姿を消し、コンピューターをはじめとする情報化時代の到来、技術革新

の急速な発展、これらに対応するため、名実共に旧時代から脱皮して新時代へ向けてやっと泉尾は工業高校として整った教育環境になりました。

長い年月と数々の苦勞を経て新装なった学舎、これら推移の中で忘れてはならぬことは、泉工に關係のあった多数の方々の物心両面の援助による再建である。これからも泉尾工高が益々発展することを祈ってやみません。

母校を去るに当り幾多の思い出はつきませんが、この永い年月の間、終始皆様から一方ならぬ御援助と御指導を頂きましたことを深く感謝致しますとともに皆様の御健勝を念じます。

歴史から醸し出される気風

矢 野 賢 二

ろうか、と反省ばかりが先に立つております。

私が泉尾工業高校に赴任した時は、これが学校かと思われる状態でした。創立当時は鉄筋コンクリート作りで、素晴らしい校舎であったようですが、戦争の爪痕とジーン台風で、一階の天井までの浸水による被害の復旧が一段落し、更に前進の氣力に溢れた時でした。



光陰矢のごとしとか言いますが、いつの間にか三四年の歳月を泉尾工業高校で過ごしてしまいました。振り返ってみますとこの長い年月、自分は何をして来たのだ

しかし教育環境としては良いとは言えません。泉尾工業高校のシンボルであった窯業科と色染科の二本の大きな煙突が天高く聳え遠方からでもその存在が分かりました。しかし、校舎内は昼でも暗く、夏には西日が当たって暑

く、休憩時間に散水をしなければ埃が立つ状態で、現在から考えると学校としての環境は問題にならなかったと思えます。

そのような状況の中でも、生徒達は生き生きとしており、勉強に運動に精一杯頑張っていました。耐寒訓練として行っていた早朝体操、マラソンには寒風の中で上半身裸で全員参加したことは今でも目に見えて来るようです。

施設設備が十分でない状態であったのに、部活動が盛んで剣道部、バレー部、硬式野球部等は全国的にも泉尾工業高校の名前が通っていました。今から考えると何

故このような結果が現れたのか分かりませんが、とにかく一生懸命練習していたことは事実です。

施設設備は欲を言えば現在でも足りませんが、剣道でも正式の試合場の面積が取れませんでした。

バレーコートは勿論屋外で泥まみれになって練習をしていました。このような状態でも優秀な成績を上げていたのですから、一応施設の整った現在の生徒諸君に期待したいと思えます。

人間のものの考え方は時代と共に変化して行くのは当然であり、変化しなければならぬと思えます。しかし人間の本質は変わりません。泉尾工業高校の歴史は一朝一夕に出来たものではなく、多くの先輩たちがその時々を考え、創り出されたものであります。その歴史から醸し出される泉尾工業高校の氣風はこれからも時代と共に新しい方向に進むと思えますが、

一層素晴らしい学校に発展させて欲しいと思えます。

多くの卒業生、ご指導ご鞭撻下さいました先輩の皆さん、この紙面を通して、失礼とは存じますが心よりお礼申し上げます。

覚えてますか



旧本館玄関
左右二つ並んでいた
外燈
現在、南階3Fに
保管

「担任」としてお礼を

丸 岡 通 泰



昭和五七年に本校にお世話になりました。わずか九年間でしたが今回、市立生野工業高校へ転任となりました。

白水会会員の皆様方にはお世話になりました。誠に申し訳なく思っております。

殊に担任をさせてもらいました六三年卒の諸君、また副担任で

しゅん しゅう 春 宵 の 宴 うたげ

(D科三十三年同窓会)

三の数字に縁の深い同窓会である。三十三年D科卒。今年は卒業三〇年目に当る。時は三月二十三日。

今回は北川、堀田両先生の定年退職記念の同窓会でもある。それに何年ぶりだろうか。六辻先生の特別参加を願う。

春まだ浅き心斎橋の人中を「大成閣」にむかう。

定刻に遅れること十五分開宴と

々勉強させてもらった平成二年卒の諸君には本当にありがとうございました。

さらに、六三年卒生の就職につきましてには白水会の大先輩の皆様

に一方ならぬお世話をいただきしました。近年の求人状況の中では最も不況の時期でしたので、大変助かりました。遅ればせながら、改めてお礼申し上げます。

さて、お世話になりました九年の中で最も印象深く思い出しますのは、やはり担任をさせていたただいた六三年卒の諸君との三年間で

した。このクラスはスポーツ好きの集

ち上る。

「入学早々のメンタルテストに

ずば抜けて高数値の人がいた。出席簿の半ばな行、ま行、あたり。……」みんなが急に色めき出す。

誰の事かいな。「おれた。」「オレやで。」「中山君自己申告しきり

である。次いで堀田先生。「三悪人には苦勞させられた、どう対決するか日夜悩み続けた。」「若き日の堀田先生ならではの述べ懐である。私の席にその一人西谷君がいる。彼は週の内三日間透析を続ける事十余年に及ぶ。大変な苦勞と

戦っている。その強靱な精神力に感動する。

西谷君と云えば、あの夏の大会の準優勝の時の主戦投手だ。床屋のラジオで聞いた夏の日が鮮やかに甦る。

わがクラスは不幸にして級友三名を失っている。今回はゆかりの人にその想い出を語ってもら

う。熊谷、一、大門、それぞれ個性豊かな人達であった。彼等がこの席にいてくれたら、どんな話題になるだろうか。……

エピソードを淡々と語っているが、それだけに尚痛切の思いが深い。

いよいよ終宴が近づいて来た。最後はやはり校歌斉唱と相成る。

「エンジン喰る、泉尾の空にやや古風な詞だが、今となってはなつかしい。あああの泉尾の空

よ。廠然たり、我等の学苑、いくたび笛声をはりあげた事だろう。まさに茫茫たり、三十余年の歳月。……皆さんやっぱりまだ飲み足らぬ様子。幹事心得えて追加料金の徴収となる。

二次会へ三々五々。それにしても皆んないいおつきんになったなあ。あの顔、この顔、と、かく励んばって来た。



(小林永典)

防錆剤・防錆添加剤・キレート剤

キレスト株式会社



代表取締役 南部 忠彦 (M39卒)
営業部長 唐津 麻修 (A41卒)

本社 〒530 大阪市北区梅田1丁目1番3-1100
(大阪駅前第3ビル11階)
電話 (06) 344-6451(代表)
ファックス (06) 344-4997

そぞろ歩きの道頓堀の風がまととに心地良い。浪花の春がもうそこまで来ている。

こんなかい・どんなかい

グリーン・クラブ

会長 高橋 誠一郎 (S15)



天候不順の毎日が続きますが、白水会の皆様、益々御健勝の御事と慶賀申し上げます。

さて私事、平成元年度に、無力乍ら大阪白水会の副会長に就任致し、色々と皆様の御支援を頂いておりますが、かねてより、二十数年前に自然消滅の形で、中断致しております旧紡織会を、この機会

にぜひ復活させ度く、諸先輩に、御相談申し上げた処、皆様の御賛同を得ましたので、早速繊維工業科の諸先生に御骨折頂き、役員に御就任頂いた方々と、幾度か準備の会合の後、グリーン・クラブの新会名の許、平成二年十月二十七日、大成閣に於いて、第一回総会を復活出来ました。

長年の夢が叶い、誠に感慨無量で御座居ます。

ただ私は会長に御推挙頂き乍ら、昨年六月から病の為、再三入院を繰返し、十月の晴れの総会には出席出来ず、皆様に大変御迷

惑をおかけ致しました事を、心より御詫び申し上げます。

幸い皆様の御協力を得て、中村寿太副会長の名司会のもとグリーン・クラブは、盛会裏に満帆の船出を致しましたので、これからは、会員の皆様のお力で、益々楽しい、そして和やかな我々の会に、育て上げようではありませんか。グリーン・クラブを盛会にする事により、白水会へも大きく貢献したいと存じます。

終りにグリーン・クラブの、役員一同を代表致しまして、今回の紡織会の復活に、御指導、御尽力頂きました、繊維工業科の里崎先生、木原先生、明比先生、並に相談役に御就任頂きました、飯田年春氏、布谷伊光氏、松本吉寛氏、三浦良貴氏の諸先輩に、厚く御礼申し上げます。

色泉会報告

久しぶりの色泉会総会が、昨年九月二十七日に道頓堀「敦煌」にて開催されました。当日は五十名の会員と色染工業科の全職員が出席し、大いに歓談

いたしました。とくに昨年三月をもって定年退職されました堀田先生に対しましては、長年のご苦勞に感謝する花束と長い拍手が贈られました。

また、科長より科の近況報告と全国の染色系学科の状況についての報告があり、出席された方々の間に色染工業科の将来についての熱気ある意見交換があちこちでありました。

私と大阪白水会

S 38 堺 雄 二

私が卒業してから白水会で諸先輩と初めて会ったのは、東レ滋賀に入社した当時でした。少し酒ぐせの悪い先輩連中だったが何かに

つけ面見のいい人達ばかりで、社会経験初めての私にとっては心強い助けとなったものでした。そんな東レ白水会を去ったのが



昔は良かったと云う話から、現在の物の浪費、自然の破壊と水の汚染等々……、そして又国の東西の統一があるかと思えば、中東、パルト三国、その他多くの国の社会情勢の不安と云うように、地球上でいろんな問題が起っている現在、日本の経済は発展したけれど諸外国から我田引水といやみを云われ、日本人が地球上の人々に何をすべきかと考えると、ふと、大きな組織となった白水会が、何か出来るのではないかと……。 (フオトスペース風商業写真家)



総会参加者(一部)

大正局で切手展を……

創立70周年記念切手展を、大正局で開催し、郵政省作成の小型印に母校の名前を残しませんか。ご連絡は、母校D科の六辻まで (五五二一二二二)

44年でした。それからは、年に一度送られてくる会報で白水会とながってまいりました。

それが、20年ぶりでS科の同窓会に出席したのがきっかけで、よく会に甚力をしている田中君に誘われてから機会あるごとに総会に参加しております。その場では諸先輩、後輩、先生方に出会い、若い夢多き青春時代を改めて思い起されるよい機会を得る場所であったように思います。

昨年ある友と会った折、人並に昔は良かったと云う話から、現在の物の浪費、自然の破壊と水の汚染等々……、そして又国の東西の統一があるかと思えば、中東、パルト三国、その他多くの国の社会情勢の不安と云うように、地球上でいろんな問題が起っている現在、日本の経済は発展したけれど諸外国から我田引水といやみを云われ、日本人が地球上の人々に何をすべきかと考えると、ふと、大きな組織となった白水会が、何か出来るのではないかと……。 (フオトスペース風商業写真家)

白水会

東京支部便り

白水会のみなさまお元気ですか？

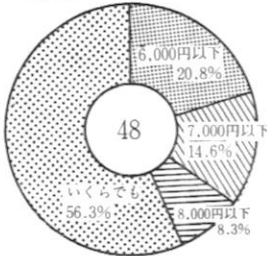
東京支部の面々も各界に活躍しております。支部では毎年六月ごろの金曜日に総会を開いて日頃の久闊を叙していますが、今年は七月五日(金)九段会館に集合します。とても楽しいからぜひ参加してください。紅数点の参加もあります。

ところで昨年アンケートをとってみました。依頼者一七〇名、回答者五二名、回収率三〇・六%で、事務局でまとめたものは下記の通りです。

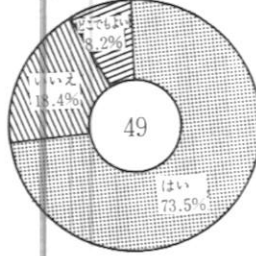
ごたぶんに漏れずわかい層の参加に苦心しています。オフィスダイナマイトの本条さん(S22)が電話作戦で、名簿の確認にあっています。

みなさんもちょうへ転勤の節には電話〇三三四七一一四二三六 東洋食器内白水会東京支部事務局 玉田哲也さん(A29)に電話してください。

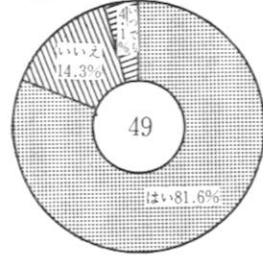
同窓会費は
いくらぐらいが妥当だと思いますか



開催場所について
毎年同じ場所とするほうがよい



開催時期について
毎年きまった時期にするほうがよい



平成二年度

白水会総会

盛大に開催

昨7月20日、心齋橋の「大成閣」において平成二年度の総会が多数の会員諸氏並びに新旧学校職員が集まって開催されました。当日は、松田利三氏(D7卒)

手製の記念手拭いが、先着百名の会員に渡され、総会を盛り上げるのに一役を買いました。

若い卒業生の参加も目立ち、多彩な顔ぶれにより、どのテーブルも時のたつのを忘れる程でした。

『西工誌』発刊される

昭和15年4月1日、泉尾工高の源流の一つである大阪市立西島工業学校が開校した。

同校は日中戦争勃発に伴い、国策遂行上産業教育の拡充を図るため

に各種工業教育機関大増設の一環として、修業年限三カ年の大阪市立実業学校工業科を分離し、此花区西島に移転独立させ、機械科・電気科・応用化学科を有する、五年制の甲種工業学校として創設された。

しかし、20年6月1日、四百機の米軍機による大阪大空襲により、二年前に完成したばかりの校舎の大部分は被害を受けた。

同年秋からは北区の普南国民学

九時半近くに、次回の再会を約してそれぞれ会場をあとにしました。

今年の総会は、二四ページに掲載されていますように7月19日に、同じ「大成閣」で開催されました。同級生、同じクラブの仲間達を、お誘いいただきまして、多数ご参加下さい。

同じ会社に勤める卒業生同士が声をかけあって、仕事の帰りに立ちよるのも、ちょっとオツなものかと思えます。

思わぬ人と顔を会わすことになるかも知れません。

校で授業は再開されたものの、校舎再建のメドは立たず、ついに昭和21年3月、工業化学科生徒は泉尾工業学校へ、機械・電気科の生徒は都島工業学校に移動し、そして翌22年5月、西島工業学校は廃止され都島工業学校に統合された。

このように戦争にもあそばれた七十年間であった。開校五十年目にあたる昨年、同校卒業生が中心になって「西島工業学校の足跡を刻むことを願ひし」同校の歩みをまとめた「冊子の発行に取り組み、本年4月『西工誌』として完成した。

諸資料を網羅された略史と卒業生各位の追懐そして全卒業生・職員の名簿からなる同誌は、貴重な証言。一達に与えてくれる。

手編糸・メリヤス糸 晒加工

株式会社 佐野毛晒工場

田 阪 雅 計 (D28卒)

〒535 大阪市旭区中宮1丁目10番28号
TEL. 954-2151

新築、造改築の御相談は是非

市岡建設株式会社へ

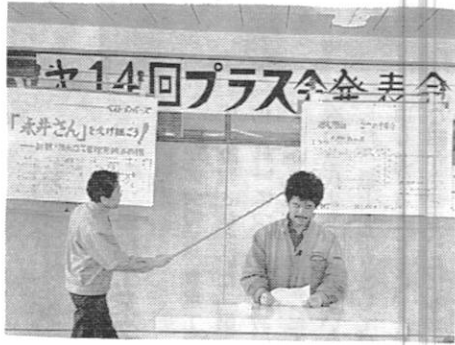
市岡建設株式会社

代表取締役 角岡 貞治 (M33卒)

大阪市大正区小林西1丁目8番21号(串田病院西裏通り)
TEL (06)554-1621(代) FAX (06)554-1625

職場の白水会

東和織物 株式会社



はじめまして
新入会員です

在学中に、白水会の封書の発送のお手伝いをすることがあります。それを後輩の方にお世話してくれるのかと思いつつ、この原稿用紙を書いていきます。
新社会人として、白水会にお世話になることになりました。今後ともよろしく願います。

私達の会社は、温もりのある生活空間を求めて、カーペットや人工芝生、カーマット、ホットカーペットカバー等を製造販売しているインテリア商品の総合メーカーであります。
従業員数は、百六名ですがそのうち十一名は、泉工出身者です。食べる、遊ぶ、寛ぐ、眠る……様々なライフシーンを時には優しく、時には暖かく、大きく包み込んでいくそんな人間の為の生活空間コジューネ、下でありたいと考えています。
佐伯祥朗、永田元宏(S35卒)、吉崎美好(S39卒)、島田保一(D39卒)、増井力(D40卒)、高原章(S41卒)、惣野忠志(S45卒)、榮藤那宏(S57卒)、福田照久(S58卒)、塩田知樹(S60卒)、鈴木進一(S平1卒)以上十一名の泉工マンは、技術製造、開発、営業とそれぞれの分野で活躍しています。

我々は東泉会と名付け、親子程、年の離れた仲間ですが時々親睦会を開催し友情を深めています。今回は泉工マンの社内での活躍ぶりを紹介したいと思います。
四月一日に私達の会社で第十四回QCサークル発表会がありました。十五チームが半年間の活動成果を発表し、順位を競うのですが、榮藤君、鈴木君が組するベストメンバーズ(サークル名)が見事優勝しました。
発表を担当した榮藤君は人前で、話すのは得意ではないのですが、汗を拭き拭き、一生懸命発表したので、勿論、内容が優れていたのですが、難かしいながらも、「よし頑張ってみよう」とフアイトを出したのが良かったのです。

これは一例ですが泉工の名を汚さない様にと泉工卒業生全員が頑張っています。白水会の皆様、東和織物様でお役に立てる事がございましたら、何時でも御用命下さい。
(連絡先)
東和織物株式会社 永田元宏
TEL 〇七二二(三四)二二三八

S平3 鈴木 江里加

私は、今年から新しい社会人としての生活を始めました。

始めは不安ばかりで、する事、覚える事全部が難しく、神経をピリピリさせて、失敗も何度かありました。でも、上司の方や先輩の方々に助けていただき、少しずつ仕事にも慣れることができました。気持ちにも少しゆとりができた。今は、昼休みには同期の人たちと、バトミントンをする時もあります。

水産物卸売業
株式会社 大勝水産

専務取締役 田中豊三(S38卒)

〒553 大阪市福島区玉川3丁目5番18号
TEL (06) 445-2571
FAX (06) 445-7848

げめりの
あしえも
帯帯半き

竹内照明(D20卒)

大阪市中央区心斎橋筋2-3-25
TEL (06) 211-1816
FAX (06) 211-8747

書の殿堂
オープン



芸術院会員の村上三島氏（A6卒）の千五百点の書を含む全国の著名な書家の作品約三千点を収蔵した上浦芸術会館が、昨年10月14日に完成オープンした。

この書主体の美術館は、村上三島氏が出身地の愛媛県越智郡上浦町の書を核にした文化の町づくりに協力して建設されたものである。

落成記念式典並びにオープニング記念書道展には、全国から約三千人が集まり、母校からも前田昌男校長および白水会代表が出席した。

同美術館は、瀬戸内海の大三島にあり、山陽本線三原から連絡船が出ている。瀬戸内観光の際には、泉尾工高先輩の作品にぜひ接していただきたいものである。

泉工史をひもとく

泉尾工業学校第二部応用化学科について

昨年の会報で、泉尾工業学校時代に設置されていた「第二部応用化学科」について、ご教示いただきたく申し上げましたところ、次の三氏よりお便りをいただきました。紙上を借りまして厚くお礼申し上げますとともに、その内容をご紹介します。

三原春雄氏（A16）

沖 奨氏（S16・12月）

田辺 豊氏（A18・12月）

三原氏によりまずと設立趣旨は「支那事変の激化の兆候より軍需生産に従事する技術者が少く、化学技術者の短期養成が必要となり普通中学校卒業の方々に進学し

ておられない方に、一年間の教育により免許を与える事が出来るため、設立された制度だったと記憶致しております。卒業生の方にてA科の先生として残られた荒マッ先生が、長年勤務されておられたので、確認されてはどうか」とのことでした。

沖氏は右の設立趣旨を述べられた後、「最初は十数名の社会経験のあるような人が入学され、徐々に減り三年間で中止されたと思っ

第四条生徒定員左ノ如シ

本科（略す）

第二部 応用化学科 二五名

第十一条「第二部ニ入学スルコトヲ得ル者ハ左ノ資格ヲ備フル男子タルヘシ

一 中学校ヲ卒業シタル者又ハ之ニ準スヘキ者」

第十五条「第二部入学志願者ニ対シテハ手数料ハ之ヲ徴収セス」

第二十六条「第二部在学者ニ対シテハ授業料ハ之ヲ徴収セス」

附則「本改正学則ハ昭和十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス。本改正学則中第二部ニ関シテハ昭和十二年

度ニ限り修業年限ヲ六ヶ月トシ昭和十二年十月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル」

なお同学則に掲載されている第二部応用化学科の学科目及び毎週授業時数表を次に示めます。

そして田辺氏は「私が入学した昭和十四年当時二部の学生がおられましたが一緒に授業を受けたこともないので具体的なことはわからない」とした上で、参考にと当時の学則のコピーを送ってこられました。（左記）

昭和十四年三月改正「大阪府立泉尾工業学校学則」によりまずと、

第二条「本校ニ本科及第二部ヲ置キ本科ヲ紡織科、色染科、窯業科、応用化学科及化学機械科ニ分

チ第二部ヲ応用化学科トス」

第三条「修業年限ハ本科五年、第二部一年トス」

第六號表 第二部 應用化学科

學科目	毎週教授時數	課程
修身	一 (一)	國民道德、公民及工業技術者心得
體操	四 (四)	體操、競技、劍道、教練
機械製圖	二 (二)	機械製圖一般
無機製造化學	四 (四)	酸アルカリ其他無機製品
有機製造化學	四 (四)	油脂塗料其他有機製品
分析化學	二 (二)	定性及定量
實習	一一 (二八)	分析實習並ニ各種製品試驗法
計	三八 (四五)	

備考 昭和十二年入學者ニ限り毎週教授時數ハ括弧内時數ニ依ル

精密金型製造販売
金剛ダイス工業株式会社

取締役製造部長 広尾正樹 (D41卒)

精密放電加工班主任 松尾剛一 (D53卒)

本社工場 〒547 大阪市平野区平野北2丁目5番11号

TEL (06) 792-4562代

和歌山工場 〒640-11 和歌山県海草郡野上町小畑144-3

TEL (0734) 89-2047代

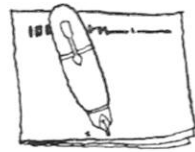
テンションコントローラーシステム
エイコー測器株式会社

代表取締役 中川俊和 (M26卒)

本社 大阪市西区南堀江1-18-27

TEL (06) 533-1801

松本工場・東京営業所



会員だより

母校に寄せられた会員の方々の近況をお知らせいたします。会費納入、住所変更などの機会にとしとしお便りをお送り下さい。

S 11 笹田 泰治

長い間、所在不明で大変御迷惑をおかけした様で済みませんでした。台湾から帰り2年半を経過、相変わらず元気で時々招かれて台湾へ出掛けたりしています。

S 32 竹原 栄一

ボーイスカウトの指導者として活躍しています。2年8/2/8 / 8新潟県妙高高原に於いて日本ジャンボリー(国際野営大会)に隊長としてスカウトを連れて参加致しました。

S 44 寺西(横川)悦子

小6(男)、小2(女)、主人と4人で元気に毎日を送っています。段々と太り、オバタリアンです。皆様もお元気にしてお過ごし下さい。

S 46 猪木 信行

子供男3人(高一、中二、中一)に、スネをかじられ、やせ衰えております。まだまだやらねば!!

S 50 菅(中川)恵美子

今年の子供の学校のPTA役員

を引き受けたので忙しい日々を過ごしています。50Sの人達、同窓会ももう少し待って下さい。

D 3 西村 桂一

長い間学校より何等連絡がなかったのに、元年暮に名簿発行とかにて25年振りに通知に接し、大変うれしく思いました。

80才過ぎた今日また老人会その他種々のお話をさせていたいただいております。

先生及び会員の皆様の御多幸と発展を祈ります。

D 4 浜 建次

卒業後60年、元気で頑張っています。

D 9 安田 育雄

庭に綿を植えたり、藍を栽培したりして楽しんでます。

秋には紅花を蒔くつもりです。

D 16 宮崎 精一

泉工卒業後、住友化学、フジケミカル職を通して49年間頑張ってきましたが、フジケミカルの社長も引退して、これからシルバーホ

ランティア活動でもしようかと思っています。

D 20 藤本 順三

定年退職後は、地元のシルバード球同好会に入会し、週二回の卓球を楽しんでおります。

D 20 片岡 勝利

日本油脂の研究所に10年、日本化学会にて研究発表し、本も出ます。その後トーマンに移り、アメリカにて自動車工業界の工作機械技術を修得し、トヨタ、三菱に輸入。最後は伊丹工業の社長を七年やり、目下経営コンサルタントをしている。

D 40 西 勇

久しぶりに学校に来て、色染の近代的な設備を見て、うらやましく思う反面、染料で汚れたきたない実習服がなつかしく思います。

卒業して25年。一度足をつっこんだら抜け出せない染色業界。この間何回か迷いもあったが、何が魅力なのか、このまま一生色の道を進んで行く様に思えます。

D 59 石川 直行

約七年ぶりに我が母校に来ました。建物も変わりびっくりしました。今の会社に勤めて五年になります。会社と言うものはやっぱりきびしいものです。学生にもどりたいなーとふと思えます。

C 12 片岡 長正

私はこれを一生の仕事にし、女性を美しくしたい。二年三月に大阪市内から三田へ越して来ました。三田米、三田肉

染料・顔料・工業薬品

平岡染料店

平岡利隆(D31卒)

543 大阪市天王寺区国分町18-11
TEL (06) 771-7426
FAX (06) 779-7794

上下水処理機械
設計・製作・施工

間機設工業株式会社

間 文彦(M37卒)

555 大阪市西淀川区御幣島5丁目11-22
TEL (06) 471-5767 番
FAX (06) 471-5311 番

無限の変化に挑戦する

超精密産業部品及び治器具製造

上野精器株式会社

代表取締役 上野 勇(M25卒)

守口市北斗町20の1
TEL 992-2371(代)
ファックス 992-8264



S42 松本 健二
泉工を卒業して早や23年になりまし
た。今は近畿織物機
の経営に、たずさわ
って毎日いそがしく
頑張っています。
織布業にとって、
さびしい環境です
が、当社独自の織物
製造工程のノウハウ
を生かし、織機はフラッシュ
織機からエアージェットルーム
と言う毎分600〜800回転で
動く高速織機を40台導入し、高
生産・織物の品質安定で納入会社
には喜ばれています。四年ご
とに開催される、国際繊維機械見
本市がフランスで開催されまし
て、2週間ほどヨーロッパの繊維
産業、文化、町並、ファッション

等見て回わり、ヨーロッパ人の頑
固な物造り、考え方、その様な中
でいつも世界のファッションは、
ヨーロッパでと言う努力を、国際
繊維機械見本市で見、自分の見聞
の浅さを、思いしらされました。も
っともっと勉強しなければ……。
さて私も四三才になり、企業に
趣味に毎日充実した日々を送って
いますが、先日白水会の有志によ
るゴルフ会があり、私も参加させ
ていただき、先輩諸兄と楽しい一
日が過ごせました。
又この様な会がありましたら、
先輩、後輩をとわず多数参加され
て白水会の充実した運営を卒業生
みんなで協力しようではありません
んか。

私の右腕・左腕になってくれる
人を探しています。白水会のみな
さま方よろしくお願ひします。

C14 柴田 清司
昨年11月末を以って勤務先職原
野組を停年退職致しました。

C15 中山 悦一
今年秋、昭和15年度四科合同級
会を開催予定です。

C33 木内 政雄
「やまがそば」営業地が福島区
鷺州から福島区海老江7-6-12
に変わりました。

C60 国場(長谷川) 峰子
平成元年10月28日に結婚しまし
た。今でもバリバリOLしてま
す。

A2 桃谷 茂人
健康で事業と奉仕でがんばって
います。

A12 伊藤 俊吾
日中友好協会の計らいを得て「
大阪各界友好訪中団」の一員とし
て旧満州へ、この六月十四日から

二十日まで、六泊七日の旅に出ま
す。

A18 岡野 俊一
現役中は他県(石川)に単身就
任、退職後は滋賀県大津に閉居し
ており、現在通院の身です。

A36 岩倉 正照
大阪在住の人にと考えておりま
す。御推薦いただけませんか。

M18 大矢 義孝
奈良県北葛城郡広陵町の自治会
会長として多忙です。

M20 長谷川正雄
海に沈む雄大な太陽、空に架る
ベイブリッジ、世界の味中華街、
三日住んだら涙っ子、これが横浜
です。いま横浜の諸星インキ機に
勤めています。ちようど一年、元

M34 西山 瑞彦
6月に仕事で10日間、シンガポ
ールに行き、7月にはアメリカの
女高生を2週間ホームステイさせ
ており、何かと多忙です。

M42 上出 利一
大阪から奈良の田舎(山辺郡都
祁村吐山)に引越し約三カ月。今
年の夏は螢やかぶと虫を狩りに行
ったりする予定。空気のいいし
所です。

M47 姫野 康通
仕事、大変いそがしいです。
平成二年は幼稚園のPTA会長
を務めました。

M48 北畠 利信
子そだてで毎日忙しくしており
ますが、これが幸福なんだと信じ
ております。

平成二年度

会費・寄付納入一覧

(平成三年三月現在)

(敬称略)

- 繊維工業科
- 三〇、〇〇〇円
- 26 阿部勝彦
- 二〇、〇〇〇円
- 17 田山正仍
- 一〇、〇〇〇円
- 4 布谷伊光
- 28 日笠一清
- 六、〇〇〇円

- 7 加藤正義
- 五、〇〇〇円
- 8 尾崎一郎
- 10 三浦良貴
- 12 野田成男
- 16 吉村英一
- 32 服部奈良次郎
- 32 榎尾俊明
- 38 中村 司
- 8 藤條正夫
- 10 山本義顯
- 15 高橋誠一郎
- 28 小西一正
- 37 富田孝一
- 44 山崎

- 45 大黒 明
- 三、〇〇〇円
- 7 佐野正三
- 11 笹田泰治
- 16 佐竹惟信
- 32 竹原栄一
- 36 西山満夫
- 47 野田宏子
- 二、〇〇〇円
- 5 中村正治
- 9 松井宏臣
- 13 川口喜三
- 16 松崎 敏
- 18 宮地政俊
- 62 坪井智江
- 8 馬場郷生
- 15 荒井政敏
- 27 中村寿太
- 33 浜本哲郎
- 46 藤本民枝
- 6 永松昌二
- 12 山田多市郎
- 15 大坪吉行
- 18 藤川一市
- 35 表田 隆

- 36 上中啓吾
- 38 久保田勇之助
- 42 大石繁男
- 43 山岡 満
- 45 中村恵美子
- 46 猪木信行
- 4 飯田年春
- 7 神田 茂
- 9 遠藤喜三郎
- 9 山本 昇
- 10 由井昌雄
- 12 多胡正治
- 12 山村英夫
- 42 加茂深雪
- 44 寺西悦子
- 45 町田みね
- 57 勇田洋伸
- 5 西村末治
- 8 宮内義政
- 9 松本吉堯
- 9 和田太郎
- 11 一色 敏
- 12 林 利一
- 14 以西公夫

- 14 幸田 勝
- 14 庄司 弘
- 14 藤崎豊彦
- 14 吉木茂太郎
- 15 上田良之助
- 15 大石 博
- 15 喜多俊雄
- 15 長沢慶一
- 15 前川良夫
- 16 青木一巳
- 16 五十崎彰
- 16 沖 奨
- 16 小林直樹
- 16 後藤達之助
- 16 中村祐治
- 16 富名腰朝和
- 16 坂口一雄
- 16 富名腰朝和
- 17 今井達平
- 17 上田三郎
- 17 沖 由文
- 17 寺岸英三
- 17 武藤寛志
- 17 毛利 忍
- 18 上田茂実
- 20 岡崎英雄

- 20 黒田芳昭
- 20 中井恒郎
- 20 宮園 勇
- 21 村上博史
- 22 佐々木良二
- 23 安村寛次
- 30 巽 昭三
- 30 田辺 尚
- 30 野口栄蔵
- 31 横田 功
- 31 河岸 勝
- 33 西岡一至
- 33 原 邦生
- 35 大坪義明
- 35 佐々井賢三
- 35 下津 明
- 35 滝美昭雄
- 35 田中雄一郎
- 35 平野精二
- 35 福岡利明
- 36 垣内 博
- 36 山本 明
- 37 千頭良夫
- 37 土井秀樹
- 38 石野 詔
- 38 堺 雄二
- 38 沢秀昭
- 40 打越一雄

41 岡田尚士	41 辻啓三郎	3 西村桂一	4 氏部	52 藤沢智恵子	52 森田雅子	8 三好勝己	9 森分重	44 小川潤一郎	45 橋本雅信	大正13 菊川康雄
42 中尾義博	42 中村吉秀	4 奥川敏郎	4 濱 建次	59 永嶋若江	● 葉業・セラミック科	10 浅井松太郎	10 梶谷信男	50 尾澤俊雄	58 加藤朱実	3 板野徳祐
43 川森愛子	43 小島由美子	4 山本信之	5 石田帝介	二五、〇〇〇円	3 平尾季夫	10 竹川利夫	10 中村安一	58 金星義弘	60 国場峯子	4 山口繁一
45 大石賢司	45 岸本康子	5 村田要人	7 高橋 澄	一、〇〇〇円	一、〇〇〇円	11 稲垣正行	11 川村 明	61 諸見里政雄	61 松田幸治	8 神林鉄五郎
45 瀬戸秀芳	45 瀬戸淑子	7 佐藤 明	7 柴田博志	二五、〇〇〇円	二五、〇〇〇円	11 島 芳次	12 岡見伊三夫	61 諸見里政雄	61 松田幸治	9 村上正豊
45 中尾博一	47 今仲よし子	9 上田俊明	9 安田育信	三、〇〇〇円	三、〇〇〇円	12 片岡長正	12 勝屋一志男	平成一 奥田 仁	平成一 小倉 隆	9 村上正豊
47 大塚明子	47 片岡良太郎	10 川北順一	11 福永義一	三、〇〇〇円	三、〇〇〇円	13 大石雄造	13 南野長三郎	平成一 奥田 仁	平成一 小倉 隆	10 齋藤一博
49 井上恵子	50 菅恵美子	11 福永義一	11 森 信也	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	14 上田猛雄	14 南野長三郎	● 工業化学科	● 工業化学科	11 桂樹日出雄
54 武士俣邦子	58 加藤朱美	12 加藤春雄	12 中川市造	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	14 高橋喜三郎	15 岡崎元男	9 松井清就	9 松井清就	11 瀬川栄一郎
59 森本宏記	平成一 岩田勝次	13 小椋圭一	13 西川榮一	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	15 岡田 浩	15 竹内敬次郎	1 松井清就	1 松井清就	12 長谷川秀夫
平成一 鈴木英子	平成一 鈴木英子	15 櫻井邦彦	15 佐野 照	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	6 村上正一	6 村上正一	13 田代憲輝
● 色染工業科	● 色染工業科	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 小山一	16 北村 一	7 山下辰雄	7 山下辰雄	14 桑野朝蔵
一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	15 林田 滋
20 竹内照明	30 小川 治	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	15 松原繁左右
五、〇〇〇円	五、〇〇〇円	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	15 三好種二郎
6 森本兵太郎	13 鎌田修一	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	16 岡 正十三
17 嶋瀬 修	34 籠谷文夫	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	17 糸永駿市
41 辻 信也	53 邑智信恵	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	17 永田三郎
三、〇〇〇円	三、〇〇〇円	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	18 河村祐治
3 永富鶴三	13 濱口幸八	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	18 谷坂三平
16 中西隆利	16 藤波正男	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	18 山口謙一
17 岡崎弘男	17 吉浦 稔	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	20 白井種一
20 中森楠司	21 中川好生	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	20 小川純也
21 村田嘉三	27 齊藤文男	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	20 西田 孝
27 中屋敷正	28 丹治靖彦	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	21 和多田清
29 首藤博之	30 遊津勝弘	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	23 戸田新也
32 内山雅夫	33 西岡春樹	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	23 戸田新也
41 広尾正樹	43 江口 忠	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	24 近藤泰男
43 太田千春	43 結野輝幸	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	25 橋本 稔
二、〇〇〇円	二、〇〇〇円	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	25 橋本 稔
8 岩倉晴美	12 田中義人	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	25 橋本 稔
12 松田家勇	41 内田信一	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	25 橋本 稔
18 濱口隆昭	29 岸岡 暁	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	25 橋本 稔
29 玉村 弘	32 隈元博久	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	25 橋本 稔
32 本間 靖	35 林田慶三	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	25 橋本 稔
38 土田征洋	38 西川忠利	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	25 橋本 稔
40 土田修二	42 田代文代	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	25 橋本 稔
42 依田直祐	43 多田 司	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	25 橋本 稔
45 田中順子	47 合志正美	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	25 橋本 稔
一、〇〇〇円	一、〇〇〇円	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	25 橋本 稔
2 小川次助	3 石村芳郎	16 奥村耕造	16 西田 肇	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	16 岩田義浩	16 北村 一	17 清水博司	17 清水博司	25 橋本 稔

- 39 柴田孝司 39 勢造一雄
- 39 外間康男 39 高元和彦
- 39 田辺敏行 39 原 義幸
- 40 生駒弘之 40 伊藤信一郎
- 40 龜田 宏 40 熊田俊夫
- 40 滝川誠一 40 中里昌明
- 40 箱田 稔 40 母里昌弘
- 41 有上正博 41 北村隆三
- 41 馬場昭光 42 北村博美
- 43 池田 実 43 佐々木和則
- 43 白石良介 43 津川淑子
- 44 倉澤光男 44 田中 茂
- 44 藤田正範 45 岩倉和男
- 45 杉山幸子 45 豊島良次
- 46 魚崎勝明 46 菊川富士夫
- 46 白崎金次郎 46 福永 新
- 55 藤川 清 58 篠原文敏
- 62 濱崎信彦 63 岩田幸二郎
- 平成1馬屋原淳一
- 平成2安藤謙司
- 機械科
- 21 二一、〇〇〇円
- 35 金高 武
- 一〇、〇〇〇円
- 20 長谷川正雄 31 松本暢之
- 33 角岡貞治 37 道上隆敏
- 43 池之内猛 47 中川邦男
- 六、〇〇〇円
- 20 千野俊三
- 五、〇〇〇円
- 18 北山良治 18 田部善保
- 26 野村光雄 34 稲田隆幸
- 41 仲尾正輝 46 宮城 惇
- 49 北方信市郎 51 清瀬 忍
- 55 松本哲夫 61 兼田武夫
- 三、〇〇〇円
- 18 浦井 清 18 大矢義孝
- 20 三原輝正 21 一井陸紀
- 21 松家信人 26 岡部浩也
- 31 原田 弘 34 中村 隆
- 34 廣田 實 37 福田 学
- 37 岡 功 37 堀哲雅則
- 37 前川金四郎 40 安井博司
- 41 尾形秋吉 41 富田清吉
- 43 山本真資 45 金井正義
- 45 奥那敏伸 46 植西輝吉
- 57 有村司郎
- 平成1伊藤博昭
- 二、〇〇〇円
- 25 富永栄一 26 溝淵初男
- 28 倉持鉄雄 33 塚原輝雄
- 33 三原富性 34 西田 敬
- 34 西山瑞彦 36 藤田義治
- 37 市場邦男 38 高橋恒晴
- 38 牧和 弘 40 三宅孝史
- 40 横田 豊 42 木下秀男
- 42 井上裕信 42 柳 和雄
- 47 林三千男
- 一、〇〇〇円
- 18 高橋利彦 20 青木昭二
- 20 遠藤信義 20 小林茂樹
- 20 真砂良一 20 丸山幸雄
- 20 正月義春 20 萩原重夫
- 20 原田圭二 20 武市 宏
- 25 諸山 登 26 下境 弘
- 29 馬屋原二郎 30 糠野由一
- 31 川瀬泰造 31 中川政美
- 31 中西仗三 32 新井俊一
- 32 綱島勝男 32 中島伊佐央
- 32 矢野勝正 33 加藤 博
- 33 佃 亘 33 戸上達夫
- 33 佃 亘 33 西尾寿一
- 34 網野雅文 34 西尾寿一
- 35 神田功治 35 玉崎 一
- 35 渡辺光章 36 猿田一男
- 36 野路末好 37 沼田清夫
- 37 東 忠治 38 植田芳忠
- 39 岡本欣三 39 落合正明
- 39 西口哲久 40 志磨村和雄
- 40 谷地弘多 41 栗崎健二
- 41 富田清吉 41 栗崎健二
- 42 井沢徳夫 45 塩川史朗
- 45 澤 昭二 46 井上陸夫
- 46 松尾一郎 48 福永智彦
- 48 柳川賢次 48 山田 一
- 49 矢野 盟 52 山原 彰
- 56 豊田 勉 57 今津武志
- 61 川本修蔵 61 土橋勇人
- 61 圓山 猛 63 川本義宏
- 63 西口徳彦
- 平成1荒木優二
- 平成2濱崎純治
- 電気科
- 一〇、〇〇〇円
- 41 河端 保 62 八木宏幸
- 五、〇〇〇円
- 42 辰田時行 50 吉田匡宏
- 52 上妻敬二
- 三、〇〇〇円
- 42 森本哲行 46 福盛健洋
- 47 森 典嗣
- 二、〇〇〇円
- 41 田中啓治 41 福永哲哉
- 42 茨 雅章 42 戸田省吾
- 49 池田隆人
- 一、〇〇〇円
- 41 島井 豊 41 中原英男
- 41 野口勇雄 41 山口 實
- 42 佐藤 勉 43 小浦英夫
- 43 田中裕治 43 寺田忠司
- 44 武内 勇 45 石本 広
- 46 寺前覚司 46 佐喜真正行
- 47 松井芳春 47 山本泰彦
- 48 川上光男 48 中田美記雄
- 49 辻 一高 49 中井清隆
- 52 石橋政信 53 提 松弘
- 55 今津勝彦 56 田中祥介
- 56 田中雅史 56 山根浩之
- 旧職員
- 二〇、〇〇〇円
- 北川恒夫
- 五、〇〇〇円
- 村上正巳
- 寺北典男
- 川浪幸雄
- 一瀬吉郎
- 二、〇〇〇円
- 大山 昭
- 岡本 泰
- 一、〇〇〇円
- 西野光之助
- 水田 賢
- 山口武彦
- 谷口仙三郎
- 岩下洋一
- 田口晶啓
- 木谷哲次
- 北尾妙子
- 現職
- 一〇、〇〇〇円
- 校長 前田昌男
- 教頭 田中孝治
- 事務長 秋田要
- D33クラス会より
- 九、四三三円
- 広告協力会社名
- 二〇、〇〇〇円
- 誠和鉄工所
- 九条ランドリー
- 一〇、〇〇〇円
- すし勇株
- 大勝水産
- やまがそば
- 市岡建設
- 株式会社
- エイコー測器
- 間機設工業
- 株式会社
- 黒川染工場
- 株式会社
- 上野精器
- 株式会社
- ㈱タイトサービス
- キレスト
- 北嶋染料店
- 平岡染料店
- 友仁堂写真館
- ㈱浜国
- ホクデン工業

総会のご案内

総会は泉工卒業生みんなの集いです。
お気軽に大成閣へお集り下さい！
懐かしい顔、すぐに思い出せない顔、昨日も会っていた顔、顔、顔……。
今年卒業された方も、どんな先輩達がいるのかちよつとのぞいてみてはいかがでしょうか……。

日時 7月19日(金)PM6時半
受付PM6時より

会場 大成閣
TEL(06)271-5238
(大阪市中央区東心斎橋1丁目1番12号)
(心斎橋大丸ビル7階の間東へ約100米)



会費 五、〇〇〇円
ただし、平成二・三年の卒業生は二、〇〇〇円
議事の時間を短縮しますので会報の決算、予算等をお目通しおき願います。